

台風14号の接近に伴う注意喚起

各種ニュース報道のとおり10月5日(月)に台風14号が発生し、今後、週末にかけて西日本への接近が予想されています。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた注意喚起についてお伝えいたします。

1. 台風14号の進路予測

10月6日午後12時45分の気象庁予報部発表によると、台風14号は日本の南をゆっくりとした速さで西北西へ進んでいます。中心の気圧は992hpa、中心付近の最大風速は23m、最大瞬間風速は35mです。

2. 気象予測と注意喚起

台風14号の予想進路は台風が発達する目安である海面水温27度を上回る海域にあり、今後も勢力を拡大し960hpaの強い台風まで発達する予報となっています。この後、あまり速度を上げずに8日(木)に沖縄・奄美、9日(金)に西日本へ接近する恐れがあります。



台風14号の進路予測(10/6午後12時45分気象庁発表)

また、台風14号の影響によって、日本の南海上にある温かく湿った空気が北上し、東日本から西日本の太平洋側に前線が形成される見込みのため、台風が離れていても前線の影響により広い範囲で大雨が降り、その大雨が降った地域に台風そのものの大雨が相まって災害が発生する懸念もあります。

なお、右図の進路予測図の通り、予報円が大きく、台風の種類と進路予想ともまだ幅がある状況です。予報が難しい台風であるため、常に最新の気象情報を確認し、早めに対策頂くようお願い致します。

今後も台風14号に関して追加でお伝えすべき続報がありましたら、本マリントピックスにてお知らせいたします。



【出典】気象庁 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリントピックス バックナンバー